交通安全情報

令和4年6月号

交通安全協会
沼津地区支部

雨の日の交通事故防止

今年も梅雨の時期を迎えます。
雨の日は、晴れの日より見通しが悪く、路面も滑りやすくなります。また、雨の日が続くと体調を崩したり気持ちも憂鬱になりがちです。
出掛ける際は、心と時間にゆとりを持ち、いつも以上に慎重な運転を心掛けましょう。

◆スピードの出し過ぎ・「急」のつく運転は禁物！

雨天の時は、雨により路面が濡れ、滑りやすくなります。ブレーキが利き始めてから車が停止するまでの距離が長くなります。前の車との車間距離を十分に取り、早めのブレーキ操作を心掛けましょう。
また、タイヤの溝が浅くなっていないか点検をすることも大切です。
※溝の深さの使用限度は1.6㎜です！

◆視界不良による見落とし・発見の遅れに注意！

雨粒が、フロントガラスや窓に付き、前方などが見えづらくなることで、歩行者や自転車等を見落としがちになります。ガラス面の油膜を取る、撥水コーティングをする、きれいに拭く等で見えやすくなります。
また、ワイパーゴムが劣化していると十分に水滴を除去できず、視界が悪くなる原因となります。
（一般的にワイパーゴムの交換の目安は1年と言われています。）
雨天時などは、周りの車や歩行者から見落とされないように、昼間でもライトやテールランプを点灯し、自車の存在を知らせましょう。

◆体調管理も忘れずに！

梅雨時期は湿気が多く、自律神経が乱れ「体がだるい」「頭痛」が起きたり、体中の水分が出にくくなり体がむくんだりと、体調不良になりやすくなります。
バランスのよい食事と十分な睡眠を取り、ストレッチや筋トレなど簡単な運動でリフレッシュをしましょう！